

自転車事故ゼロのまち

目的:近年、省エネ志向の拡大等の理由から、自転車を使う人が増えている。
そこで、自転車・歩行者・自動車が安全にうまく共存できる金沢のまちの道路計画を行う。

場所の選定:街頭やタクシー運転手へのアンケート調査を行い、その結果から金沢で危険だと感じる場所の特徴をまとめ、典型的な2か所をピックアップした。

File 1 >> 細路地

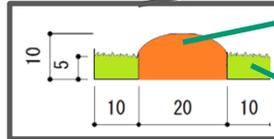
問題点

- ・住宅街にトラックが頻繁に進入。
- ・通学路として利用されており、小学生に危険を感じさせる。

- 凹凸をつける
自転車のスピードを落とす
- 道を蛇行させる
自動車のスピードを落とす



- 樹を植える
自動車の直進を妨げ、スピードを落とさせる。



凹凸の断面図

レンガ

芝生

その他の効果

- ・樹木を植えるので環境に優しい
- ・地域のコミュニティーが生れる

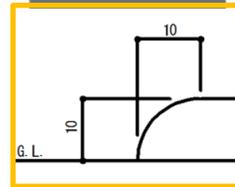
File 2 >> 車通りの少ない4車線

問題点

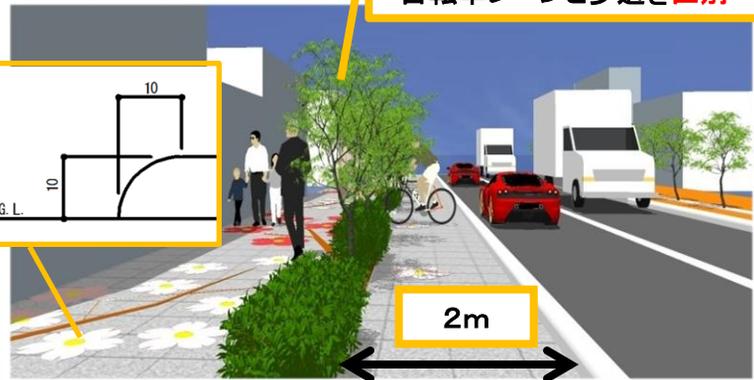
- ・車通りが少ない割に車道の幅員がある。
- ・歩道が狭く、自転車と歩行者が互いに危険を感じやすい。

- 自転車専用レーンを設ける
歩行者と自転車を分離。
- 歩道の幅を広くする
ゆったりと歩ける

- 四季の道
歩道に四季をイメージしたイラストを描く。
イラストを部分的に立体にすることで、歩道への自転車の侵入を防ぐ。



樹木を植えることで
自転車レーンと歩道を区別



その他の効果

- ・道路が華やかになり通るのが楽しくなる
- ・歩道が広くなったのでゆったり歩ける

全体的な効果

- ・道路が華やかになり、通るのが**楽しみ**になる
- ・高齢者や子供が**安全**に生活できるようになる
- ・植栽を増やすので**環境に優しい**

金沢工業大学
2011年度 プロジェクトデザインⅡ

プロジェクト名 : 自転車と共存できる街づくり
クラス番号 : VA403
チーム番号 : 4
チーム名 : No! Name
チームメンバー名 : 新田健吾・廣瀬寛騎・吉岡二成・伊東孝敏・井上夏菜・大川恭平
担当教員名 : 竹内申一先生